

●昭和舗道株式会社

| | |
|-----------|---|
| 市町村 | 柳川市 |
| 業種 | 建設 |
| 従業員数 | 約20名 |
| 参考となる取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時に、社長から従業員に対して、がん検診を受けるように話してもらっている。会社のトップが啓発することにより、従業員のがん検診への関心が高まった。 ・事業所が従業員のがん検診受診費用を全額負担するとともに、検診受診時や再検査時に、有給休暇を付与し、受診しやすい環境づくりを行っている。 ・福利厚生を充実させることで、従業員に「会社は自分たちのことをしっかりと考えてくれている」ということが伝わり、離職の防止、求人への応募者の増加につながっている。 ・県から提供されたがん検診啓発ポスターを、従業員の目につきやすいように、従業員控室や炊事場に貼り出すとともに、給与明細にチラシを同封するなど、県の支援を積極的に活用し、従業員にがん検診の重要性を周知徹底している。 |

●有限会社 光城建設

| | |
|-----------|---|
| 市町村 | 鞍手郡鞍手町 |
| 業種 | 建設 |
| 従業員数 | 約10名 |
| 参考となる取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時に、がん検診の検診内容を具体的に示し、検診の重要性や必要性を説明している。 ・また、その際に県から提供された情報を報告し、受診啓発を行っている。 ・事業所が従業員のがん検診受診費用を全額負担し、受診しやすい環境づくりを行っている。 ・県から提供されたがん検診啓発ポスターを事務所の目につくところに掲示し、従業員だけではなく、来訪者に対しても、がん検診を受診するように促している。 |

●宮川建設株式会社

| | |
|-----------|--|
| 市町村 | 福岡市 |
| 業種 | 建設 |
| 従業員数 | 約20名 |
| 参考となる取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議の時に健康診断及びがん検診を年一回は必ず受けるようにと声掛けを行っている。 ・また、管理部において、各従業員の日程調整・受診予約を行い、平日の受診が難しい従業員については、土曜日に受診させている。また、受診したかどうかの確認を行い、全員受診に向けて積極的な取り組みを行っている。 ・事業所が従業員のがん検診受診費用を全額負担し、受診しやすい環境づくりを行っている。 ・県から提供されたがん検診受診啓発ミニのぼりを目につくところに置き、従業員だけではなく、来訪者に対しても、がん検診受診啓発を行っている。 ・がん検診を受診した結果、がんに罹患していることが判明した従業員がいるが、勤務時間の調整や就業規則にとらわれない勤務時間で就労など会社を挙げてサポートし、がん治療と就労を両立することができている。 ・また、その従業員から、がんの体験談を他の従業員に話してもらうことにより、事業所全体でがん検診の重要性の理解につなげている。 |

●九昭電設工業株式会社

| | |
|-----------|---|
| 市町村 | 北九州市 |
| 業種 | 建設 |
| 従業員数 | 約50名 |
| 参考となる取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・協会けんぽが実施している生活習慣病予防検診を活用し、がん検診を就業時間内に有給休暇を付与して実施することで、従業員ががん検診を受診しやすい環境づくりを行っている。 ・また、がん検診受診費用についても、一部を事業所が負担している。 ・県から提供されたがん検診受診啓発ミニのぼりを目につくところに置き、従業員だけではなく、来訪者に対しても、がん検診受診啓発を行っている。 ・市町村のがん検診問い合わせ先や県内のがん相談支援センター連絡先が掲載された「がん検診ハンドブック」を全従業員へ回覧し、がん検診に対する関心を高めている。 ・がん検診推進員が、従業員本人だけではなく、家庭でもがん検診のことについて、話し合うきっかけを作ってもらえるような様々なアイデアを考え、実施を検討している。 |

●行政システム九州株式会社

| | |
|-----------|---|
| 市町村 | 福岡市 |
| 業種 | 製造・販売 |
| 従業員数 | 約160名 |
| 参考となる取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対して、健康診断の受診に関する案内をする際に、国立がん研究センターが運営するホームページであるがん情報サービスにおいて公開されている、がんの予防や早期発見に関する資料を活用し、がんに関する情報を提供している。 ・それぞれのがんの特性と検査方法、がん検診のメリットとデメリットをまとめた資料を作成し、従業員に周知している。 ・がん検診において、従業員がオプション検査を希望した際には、事業所がその検査費用の一部を補助し、がんの早期発見につながるよう取り組みを行っている。 ・また、どの検診機関でどのような検診が受診できるかについて、情報収集を行い、従業員からの問い合わせに対して、適切な検診機関の紹介を行っている。 ・県から提供されたがん検診受診啓発ミニのぼりを従業員の通用口に設置し、全従業員に対して、がん検診受診啓発を行っている。 |